

施設名	台東区立台東病院・老人保健施設千束（指定管理者 公益社団法人地域医療振興協会）
事業開始年度	平成21年度
区所管	台東区役所健康部健康課、台東区役所福祉部高齢福祉課
付託協議会	台東病院等運営協議会
付託協議会の目的	区民が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けられるよう、高齢者の慢性期医療を担う拠点病院としての医療資源・機能及び在宅復帰に必要な介護保険サービスを一体的に整備した東京都台東区立台東病院及び東京都台東区立老人保健施設千束が、その機能と役割を適切に果たしていることを評価・検証することにより、病院運営の透明性および区民に対する説明責任を確保する。

1 事業の概要

<p>台東病院等整備の理念</p> <p>高齢者が住み慣れた地域で療養できるよう、高齢者の慢性疾患に対応する病院と在宅復帰に必要な入所施設を一体的に確保します。</p> <p>高齢者がいつまでも自分らしく、安心した在宅生活を送ることができるよう、保健・医療・福祉サービスを提供します。</p> <p>高齢者が施設や在宅に必要な保健・医療・福祉サービスを円滑に利用できるよう、サービスの担い手の連携を積極的に推進します。</p> <p>安心して子育てができるよう、医療の面から支援します。</p> <p>快適な療養環境や質の高いサービスを効率的に提供します。</p> <p>「運営の透明性」、「区民に対する説明責任」を確保し、上記の理念が適切に果たされていることを区民の視点に立って評価・検証します。</p>
--

<p>病院運営の基本方針（16年度策定）</p> <p>総合医を中心としたチームによる医療を提供します。</p> <p>利用者本位で、満足度の高い医療を提供します。</p> <p>関係機関と連携を推進し、安心して在宅生活が送れるよう、医療を提供します。</p> <p>医療従事者の育成と資質の向上に努めます。</p> <p>区の小児初期救急医療のしくみを補完します。</p> <p>健全で安定的な経営基盤の確立を図ります。</p>
<p>老健運営の基本方針（16年度策定）</p> <p>良質で包括的なサービスを提供します。</p> <p>利用者の人格及び意思を尊重し、快適で質の高い療養・介護環境を提供します。</p> <p>地域の福祉関連機関との連携のもと、円滑な在宅復帰を目指します。</p> <p>病院に併設されていることの利点を最大限に活かします。</p> <p>健全で安定的な経営基盤の確立を図ります。</p>

区立台東病院等 運営理念				
「ずっとこのまちで暮らし続けたい」を応援します				
区立台東病院等 運営基本方針				
高齢者医療に力をいれます 在宅医療を支援します まずは受け入れるという姿勢を持ちます 地域と連携してサービスを提供します 医療に恵まれない地域の支援を行います				
運営方法	直営	指定管理	補助・助成	その他

2 事業をとりまく環境の変化(社会ニーズの変化)

病院等運営の21年度基本方針	病院等運営の22年度基本方針
職員の安定的な確保 安全な業務の遂行 (運営を軌道にのせる)	医療サービスの質の向上 安全なサービスの提供

3 事業概況の推移

指標値	事業全体	区 分		単位	21 年度 (実績)	年度	年度	
規模	病院	一般病床(40床)		人	9,774			
		療養病床(40床)		人	9,257			
		回復期リハビリテーション病棟(40床)		人	7,954			
		計		人	26,985			
		老健	入所・短期		人	34,495		
			計		人	34,495		
	事業収支(病院)	総収益	医業収益		千円	886,535		
			医業外収益		千円	448,470		
			計		千円	1,335,004		
			(うち指定管理料)		千円	410,757		
		総費用	医業費用		千円	1,350,078		
			医業外費用		千円	34,971		
計			千円	1,385,049				
損益		医業損益		千円	463,543			
		医業外損益		千円	413,498			
		計		千円	50,045			
事業収支(老健)		総収益	事業収益		千円	522,930		
			事業外収益		千円	118,281		
	計		千円	641,212				
	(うち指定管理料)		千円	113,143				
	総費用	事業費用		千円	644,403			
		事業外費用		千円	8,560			
		計		千円	652,962			
	損益	事業損益		千円	121,472			
		事業外損益		千円	109,722			
		計		千円	11,750			
	事業収支(合計)	総収益	事業収益		千円	1,409,465		
			事業外収益		千円	566,751		
計			千円	1,976,216				
(うち指定管理料)			千円	523,901				
総費用		事業費用		千円	1,994,481			
		事業外費用		千円	43,531			
		計		千円	2,038,012			
損益		事業損益		千円	585,015			
		事業外損益		千円	523,220			
		計		千円	61,795			
			区 分		単位	21 年度 (実績)	年度	年度
経営分析		事業収支比率 (全体)		%	70.7			
	職員給与費対事業収益比率 (全体)		%	97.9				
	病床利用率 (病院)		%	61.6				
	1日外来患者数 (病院)		人	94.2				
	入所利用率 (老健)		%	63.0				
	1日通所利用者数 (老健)		%	21.9				
	入院患者1人1日当たり診療収入 (病院)		円	23,248				
	外来患者1人1日当たり診療収入 (病院)		円	6,586				
	入所利用者1人1日当たり事業収益 (老健)		円	13,224				
	通所利用者1人1日当たり事業収益 (老健)		円	10,390				
	医師1人1日当たり診療収入 (病院)		円	220,806				
	看護部門1人1日当たり診療収入 (病院)		円	45,828				
上記内容に対するコメント(収益、費用、運営効率等の動向など)、事業者独自のPR事項など								

		区 分	単位	21 年度 (実績)	年度	年度	
指標値	個別指標	健全で安定的な経営基盤の確立					
		全体収支比率 (合計)	%	97.0			
		病床利用率					
		一般病床(40床) (病院)	%	66.9			
		療養病床(40床) (病院)	%	63.4			
		回復期病床(40床) (病院)	%	54.5			
		外来患者数(1日) (病院)	人	94.2			
		入所利用率(150床) (老健)	%	63.0			
		入所のうち、短期利用者数(1日) (老健)	人	2.5			
		通所利用者数(1日) (老健)	人	21.9			
		利用者の満足度の向上					
		退院・退所後の在宅復帰率 (合計)	%	76.6			
		地域連携相談室 相談件数					
		入院 (病院)	件	678			
		入所 (老健)	件	576			
		新来患者数 (病院)	人	6,852			
		地域との連携					
		紹介率 (病院)	%	15.4			
		逆紹介率 (病院)	%	8.2			
		他院検査依頼件数 (病院)					
		CT (病院)	件	67			
		MRI (病院)	件	130			
		緊急一時病床利用実数(3床) (病院)	人	53			
		地域に開かれた施設					
		区民向け講演会等実施件数 (合計)	件	4			
		上記内容に対するコメント(収益、費用、運営効率等の動向など)、病院独自のPR事項など					
		患者・利用者0からのスタートのため、全体の収支はマイナスになった。年度末には稼働率も9割弱になった。					
参考情報	患者・アンケート等の結果摘要	問題状況と改善方針	いただいたご意見から抜粋				
			<p>施設設備・管理不備(充実要請)</p> <p>意見 受付番号は全体の番号ではなく、各科の順番番号にして欲しい。いつ呼ばれるかわからないので、トイレにも行けません。</p> <p>改善 お呼び出し順番の事前表示を番号表示版で出来るよう、運用の見直しを行った。</p> <p>運営上の提案</p> <p>意見 コンビニ・喫茶が休日営業しないというのは不便。休みの日こそお見舞いに来る人が多い。なんとかして営業してほしい。みんな言ってます。</p> <p>改善 日曜日営業の実施を始めた。</p> <p>感謝お褒め</p> <p>台東病院が出来まして、近くで非常に便利しており、受付の方、先生方、皆様も親切で、説明をしっかりと病名に対してわかりやすく、今のところ感謝だけです。</p>				

4 評価

役割・機能 (1)	高齢者の「慢性期医療を担う拠点病院」と「老人保健施設」が連携しながら、互いの機能を効果的に発揮し、運営しているか。			
		事業者(自己)評価	A 概ね妥当である B 改善の余地がある	A
	根拠	総合診療科を設置し、高齢者の全身的な診療に対応した。入院患者の中の高齢者の割合も高く、慢性疾患にも対応している。		
		運営協議会評価	A 概ね妥当である B 改善の余地がある	A
	根拠	病棟の稼働状況や総合医の確保状況等からみて、初年度としては一定の役割・機能を発揮できたといえ、また、今後、一層の役割・機能を果たしうる基盤を確保できたといえる。今後は、整備計画等に基づいた慢性期医療の中核病院としての機能を発揮するため、台東病院の役割・機能を各科の医師・スタッフ間で理解・共有することと、区民・患者に伝えるための広報等を行う必要がある。		
		事業者(自己)評価	A 概ね妥当である B 改善の余地がある	A
	根拠	介護スタッフを十分に揃えサービスの提供を行った。リハビリテーション等も充実させ、利用者の在宅復帰につなげた。		
		運営協議会評価	A 概ね妥当である B 改善の余地がある	A
	根拠	在宅復帰に関して在宅主治医との連携が十分とはいえない等の課題もあるが、入所利用率や在宅復帰率からみて、初年度としては一定の役割・機能を果たしたといえる。在所日数については、利用者の家庭の問題や他の施設に移るまでの期間といった話もあり、増加傾向にあるとのことだが、今後、本当に必要な方が入所でき区民が等しくサービスを受けられるようにするため、平均在所日数等に注視しながら運営する必要がある。		
		事業者(自己)評価	A 概ね妥当である B 改善の余地がある	A
	根拠	患者利用者の状態に応じて、病院と老健が連携しながらサービス提供ができた。		
	に対する評価	運営協議会評価	A 概ね妥当である B 改善の余地がある	B
根拠	病院と老健それぞれの機能は初年度として果たされているものの、病院と老健が併設されていることで利用者にとって効用のあった具体例や、病院を退院してすぐには在宅に戻れない患者が老健千束を経て在宅に戻れた件数等、相互の連携関係を示す客観的な情報の提供が必要である。			
利用者の入退院、老健入退所、在宅生活の一連のサービスを提供するため、サービスの担い手と連携しているか。				
	事業者(自己)評価	A 概ね妥当である B 改善の余地がある	A	
根拠	在宅医療拠点病院モデル事業、医師と連携担当者の会の発足、各種カンファレンスの実施等地域との連携を強化し、高齢者の退院退所の調整を行った。			
	運営協議会評価	A 概ね妥当である B 改善の余地がある	A	
根拠	紹介率等の病院の連携を示す指標値については不十分な面もあるものの、施設全体としては他施設との連携に取り組んでいると評価できる。特に、退院前カンファレンスを積極的に実施している点や、各施設との連携の中でお互いスタンダードな情報を入手・共有できるように作成した「患者状態連絡表」については、大いに評価できる。今後、患者状態連絡表の運用方法について十分に検討し、近隣のかかりつけ医との連携をさらに進める必要がある。			

家族等への支援や在宅でのリハビリテーションの支援等により、区民が在宅復帰後もいつまでも自分らしく安心した在宅生活を送ることができるよう支援しているか。				
役割・機能 (2)		事業者(自己)評価	A概ね妥当である B改善の余地がある	B
	根拠	地域連携相談室を作り各機関との連携構築に努めた。訪問リハビリ事業、在宅リハビリテーション支援事業は22年度の課題になっている。		
		運営協議会評価	A概ね妥当である B改善の余地がある	B
	根拠	地域連携相談室を設置しているが、患者や利用者に関する情報についての問合せに対する返答に時間がかかりすぎる傾向があり、まだ十分な機能に達しているとはいえない。また、区民がいつまでも自分らしく、安心した在宅生活を送れるよう、リハビリテーションの機能を充実させる必要がある。		
区から提供された施設・機器等を効率的に活用しているか。				
効率性・経済性 (1)		事業者(自己)評価	A概ね妥当である B改善の余地がある	B
	【病院の評価】 根拠	地域連携、近隣住民との会等で会議室を効率的に利用できた。高額医療検査機器の共同利用実績はまだ少ないため、今後さらに周知していきたい。		
		運営協議会評価	A概ね妥当である B改善の余地がある	B
	根拠	施設に関しては、初年度の入院稼働状況をみれば、概ね妥当といえる。機器等に関しては、高額医療機器の共同利用の実績が少ないことが課題である。また、他医療施設からの検査依頼に対する返答までの時間については、短縮傾向にあるものの、緊急を要する場合の対応方法について検討する必要がある。		
	事業者(自己)評価	A概ね妥当である B改善の余地がある	A	
【老健の評価】 根拠	稼働率も9割に達した。広く充実した機能訓練室、屋上リハビリ庭園等を利用して利用者サービス提供ができた。			
	運営協議会評価	A概ね妥当である B改善の余地がある	A	
根拠	施設に関しては、初年度の入所・通所稼働状況をみれば、概ね妥当である。機器等に関しては、今後、個別の状況を把握しながら、適切に管理する必要がある。			
	事業者(自己)評価	A概ね妥当である B改善の余地がある	B	
に対する評価	根拠	区から提供された新しい施設、機器等を利用して患者・利用者はじめ一般の方にもサービス提供できた。高額医療機器の利用等さらに活用を充実させていきたい。		
		運営協議会評価	A概ね妥当である B改善の余地がある	B
	根拠	初年度としては、年度末の施設の利用状況は望ましい水準に達しているものの、共同利用を含めた医療機器の積極活用をする必要がある。また、今後、平年度ベースで、経営分析指標に基づき客観的に把握する必要がある。		

事業運営費の効率性は発揮されているか					
効率性・経済性 (2)	【病院の 評価】	事業者(自己)評価		A概ね妥当である B改善の余地がある	B
		根拠	患者数0からの始まりであった。外来は目標数に達することができなかった。一部開棟が遅れた病棟もあったが稼働率は9割弱に達した。		
		運営協議会評価		A概ね妥当である B改善の余地がある	B
		根拠	利用者数については年度末の実績を見ると相応の評価ができるものの、初年度であるため年間延患者数が少なく、人件費率が高くなっている。今後フル稼働した状況下で検討することが賢明と考える。 今後、台東病院の機能・使命を各科の医師・スタッフが理解・共有し、地域に求められた機能を発揮した上で、経済性を発揮することを期待する。		
	【老健の 評価】	事業者(自己)評価		A概ね妥当である B改善の余地がある	B
		根拠	利用者数0からの始まりであった。一部計画より利用状況が遅れることもあったが、稼働率は9割に達した。		
		運営協議会評価		A概ね妥当である B改善の余地がある	B
		根拠	利用者数については年度末の実績を見ると相応の評価ができるものの、初年度であるため年間延患者数が少なく、人件費率が高くなっている。今後フル稼働した状況下で検討することが賢明と考える。		
	に対する 評価	事業者(自己)評価		A概ね妥当である B改善の余地がある	B
		根拠	患者・利用者0からで、経営的には厳しい状況から始まったが、年度末には稼働状況を上げることができた。今後も改善を続けていきたい。		
		運営協議会評価		A概ね妥当である B改善の余地がある	B
		根拠	利用者数については年度末の実績を見ると相応の評価ができるものの、初年度であるため年間延患者数が少なく、人件費率が高くなっている。 ただし、病院・老健の年間稼働率が60%程度にもかかわらず、指定管理料を除いた事業収支比率が70%に達しており、今後、稼働率等を向上させていけば、収支も改善することが予測される。		

区民の意見を取り入れながら運営に活かし、また、区立病院・施設だからこそできる役割を果たしているか。				
計画性・改善状況等	【区民の意見に基づく改善】	事業者(自己)評価	A概ね妥当である B改善の余地がある	A
		根拠	施設内に皆様の声がきけるスペースを2か所設置している。いただいた意見に対しては診療会議等で議論し、回答は掲示している。地域の催し等にも参加し、皆様の声をうかがっている。	
		運営協議会評価	A概ね妥当である B改善の余地がある	A
		根拠	初年度の活動としては、地元をはじめ区民の意見・要望も取り入れ、改善しながら運営していると評価できる。さらに区民の声を広く取り入れ、運営に反映する仕組みの構築に期待する。	
【区立病院・施設としての役割】	事業者(自己)評価	A概ね妥当である B改善の余地がある	A	
	根拠	24時間365日の一次救急対応を行った。台東区緊急一時入院病床確保事業を行った。患者懇談会、待合健康教室、区民健康相談実施等、区民の方々のための企画を実施し好評を得た。		
	運営協議会評価	A概ね妥当である B改善の余地がある	A	
	根拠	初年度の取り組みとしては概ね妥当である。今後は、台東病院がここにあって、どういう治療をしているのか、どういう取り組みを行っているのかといった情報を、より広域的に広報する必要がある。		
に対する評価	事業者(自己)評価	A概ね妥当である B改善の余地がある	A	
	根拠	区民の意見を取り入れながら、区立施設として、様々な企画・イベントの開催等、区と一体となって事業展開ができた。		
	運営協議会評価	A概ね妥当である B改善の余地がある	A	
	根拠	区民が台東病院に対して「うちの区民病院だよ」と自慢できるような病院に育っていきけるよう、引き続き施設内外の意見を広く吸収するとともに、台東病院側から病院等の役割・機能についての情報が区民に浸透するよう広報する必要がある。		
計画性を持って運営しているか				
に対する評価	事業者(自己)評価	A概ね妥当である B改善の余地がある	B	
	根拠	職員全員に経営状況、運営状況を周知するとともに患者サービス・質の向上を伝えていく。職員に対してより一層周知していきたい。		
	運営協議会評価	A概ね妥当である B改善の余地がある	B	
	根拠	理念に沿った運営を着実に推進するため、理念に整合したビジョンならびに達成指標等を関係者が共有できるようにする必要がある。また、職員に対してもこの施設の担う機能・使命などについて周知徹底する必要がある。		

5 総合評価

1. 役割・機能について

台東病院については、年度末の病床稼働状況や総合医の確保状況等からみて、一般病床・療養病床（一部、回復期リハビリ病棟として利用）を有した慢性期医療拠点病院としての役割・機能を果たしうる基盤を確保できたことは大いに評価できる。今後、台東区全体の中でその機能を発揮するため、まずは、整備計画に基づいた役割・機能を果たすことが必要であり、そのために、台東病院の役割・使命を、各科の医師・スタッフ間で理解・共有に努めることと、区民に伝えるための広報等に積極的に取組まれない。

老人保健施設千束については、年度末の入所稼働状況や在宅復帰率からみて、在宅復帰のための施設として一定の役割・機能を発揮しているといえる。今後も、入所が必要な区民が等しくサービスを受けられるよう、平均在所日数等に注視しながらの運営を心がけたい。

患者退院時に院外とのカンファレンスを積極的に実施している事、各施設との連携のツールとして「患者状態連絡表」を作成した事など、地域の中で一定の役割を果たしていると評価できる。今後は、地域連携相談室の機能充実、モデル事業として実施した在宅医療拠点病院事業の検証、病院と老健を併設している利便性の検証等を行われたい。

2. 効率性・経済性について

台東病院については、年度末の病床利用率は90%近くであり、多くの区民が入院できたと評価できるものの、医療機器の共同利用の実績は少なく、高額医療機器を地域の中で有効的に利用されるように取組まれない。

老人保健施設千束については、年度末の入所利用率は90%近くであり、多くの区民が入所できたと評価できる。

収支については、初年度であるため、人件費率が高く、区からの指定管理料を除いた実質収支比率は70%程度となっている。利用者数が計画値に達するように努め、収支の改善に取組まれない。

3. 計画性・改善状況・その他について

地元をはじめ区民の意見・要望も取り入れながら、改善しつつ運営しており、地域に密着した施設として一定の評価を得ているといえる。台東区の慢性期医療の拠点となる病院として、区民が台東病院に対して「うちの区民病院だよ」と自慢できるような病院に育ていけるよう、引き続き施設内外の意見を広く吸収するとともに、台東病院側から病院等の役割・機能についての広報をしていただきたい。

外来の掲示板・ホームページ等を活用し、従事する医師等の基礎的な情報（常勤・非常勤の分け、専門分野等）や診療科目の情報等を利用者にわかりやすく伝えるよう取組まれない。